

妙心寺周辺エリア

～仁和寺・龍安寺・等持院・法金剛院～

仁和寺参道

正面参道と一体をなす門前景観



仁和寺門前・双ヶ岡北側の地域

敷地規模も大きく緑化の豊富な日本瓦ぶき・和風外観の和風住宅



妙心寺

市民の日常的な、緑あふれる憩いの場



きぬかけの路沿道

山林・生垣・和風塀が並んでおり、緑豊かな落ち着いたたたずまい



妙心寺参道

樹木と一体となった通り景観



法堂



一条通・妙心寺道沿道

明治以前から残る道に沿って町家が残る



エリア概要

- 御室・花園地域は、衣笠山から龍安寺山、大内山などの山々を経て愛宕山へと山並みが続き、その山ろくには龍安寺、仁和寺、妙心寺などの社寺や史跡・景勝地が多く存している。この地は、近代に入って、鉄道敷設や太秦一帯における映画産業の勃興などにかかわって、住宅地化が進むこととなった。
- 御室・花園地域の衣笠山から西山に連なる山地部は、歴史的風土特別保存地区の指定により、山林がきれいにまとまって保存されている。

- 御室・花園地域では、衣笠山から西山に連なる山地の南麓部をしっかりと押える格好で、仁和寺・龍安寺の大きな境内地が立地している。
- 妙心寺については、肅然と建ち並ぶ禅刹(ぜんさつ)の建築群が見る人に深い感動を与えている。
- 妙心寺については、市民の日常的な、緑あふれる憩いの場として保全を図り、周辺では、低層住宅地域による周辺環境の保全を図るものとする。



龍安寺（妙心寺派）

妙心寺塔頭。写真は本堂



等持院



龍安寺参道

深い緑の連続

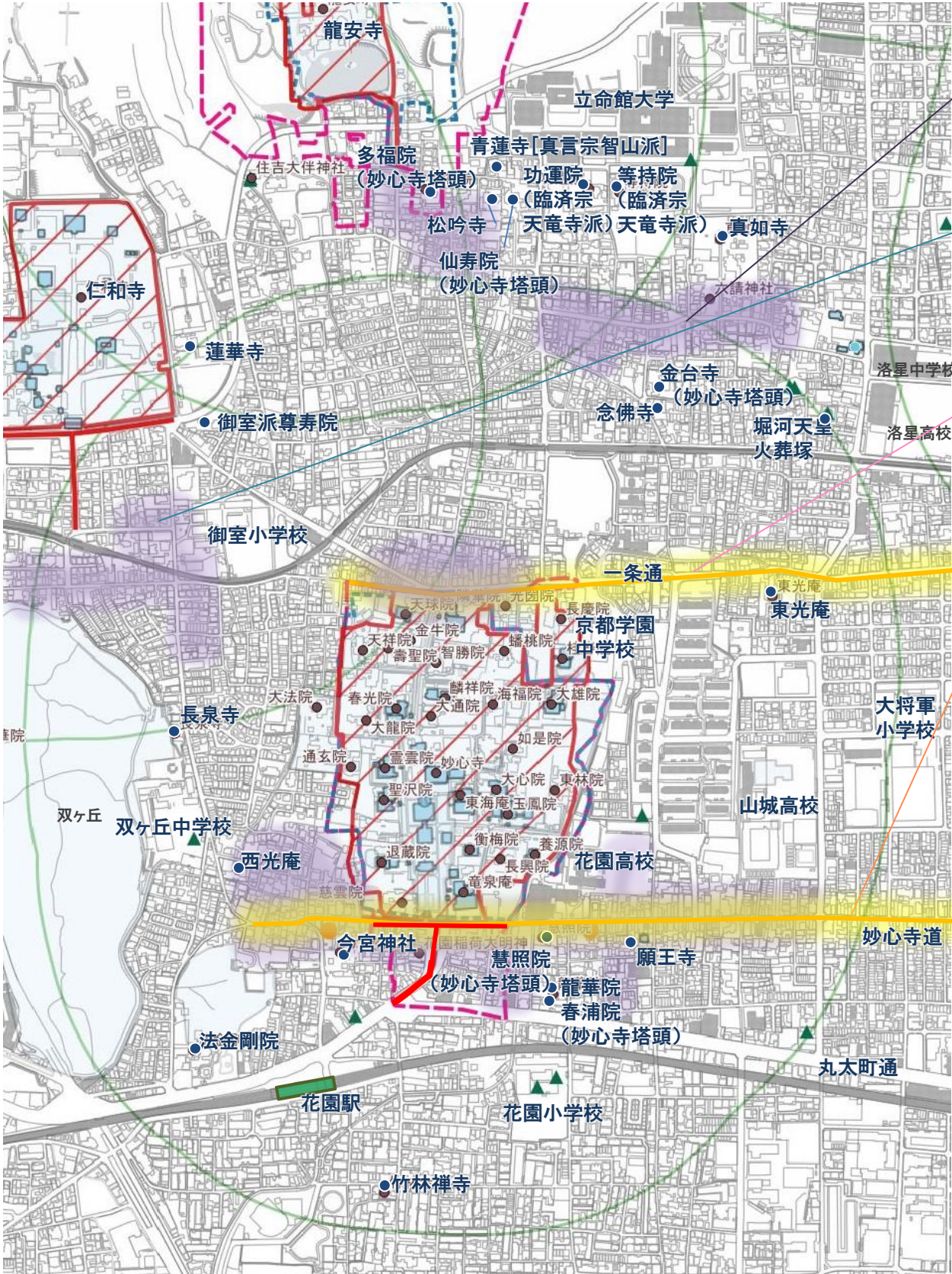


法金剛院

国指定名勝の庭園



- 視点場(境内)
- 視点場(参道等)
- 特に着目する通り
- (白線) エリアの主な通り



等持院
元禄二年（1689年）刊の資料には、「等持院」として村の概要が記されている。¹⁾

敷地規模が大きく緑化の豊富な日本瓦ぶき・和風外観の和風住宅が多い。また、二王門前の参道は、現在も低層住宅が並ぶ門前景観が守られている。

妙心寺門前・一条通
享保14年(1729)には、既に門前町が形成されていたとされており²⁾、一条通沿いには現在も古い町家が残る。²⁾

妙心寺道付近
享保14年(1729)には、既に門前町が形成されていたとされており³⁾、妙心寺道沿いには現在も古い町家が残る。

【凡例】

斜線

視点場（境内）

赤線

視点場（参道等）

緑線

近景デザイン保全区域

黄線

特に着目する通り

紫線

明治25年以前から存在する市街地

斜線

界わい景観整備地区

建造物・庭園

青三角

景観重要建造物・歴史的風致形成建造物

黄三角

歴史的意匠建造物

緑三角

界わい景観建造物

赤三角

京を彩る建物や庭園

青四角

文化財（建築物）

赤四角

文化財（史跡・名称）

赤文字

国土地理院社寺データ等

樹木

赤三角

天然記念物

緑三角

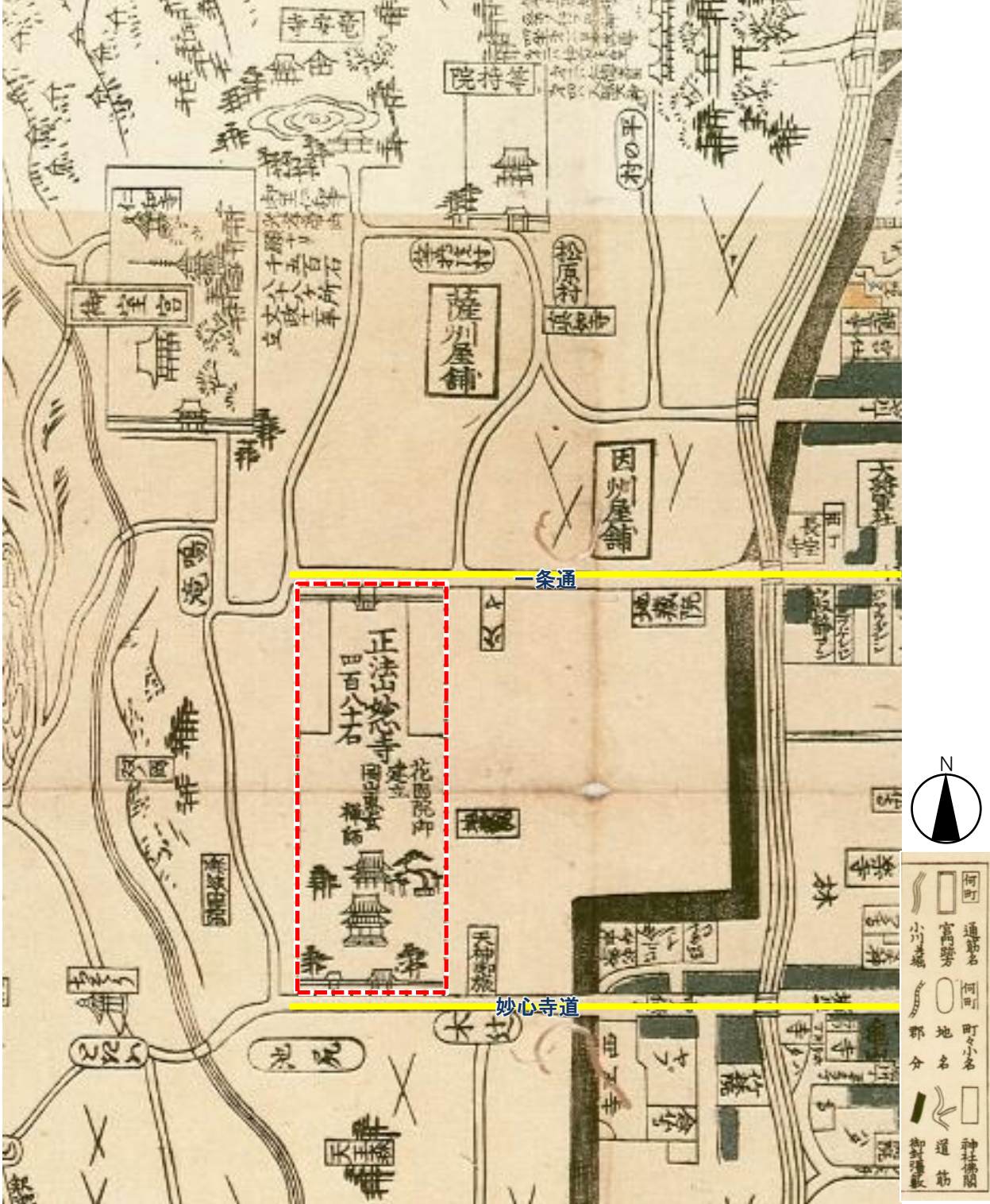
保存樹・区民の誇りの木

※ 国土地理院の数値地図2、500に掲載の社寺データと、平成15・16年発行のゼンリン住宅地図の1、000m2以上の社寺データ

※ 詳しい地図情報は、京都市景観情報共有システムをご確認ください。

エリアの土地利用の変遷(1)

明治2年(1869年)(上地政策による境内地減少前)



京町御絵図(明治2年)

妙心寺北側、南側
・享保14年(1729)には、妙心寺の北側に北門前町、南側に西門前町、南門前町があった。⁴⁾

仁和寺門前
・門前に集落が形成されたのは、寛永年間に幕府の手で仁和寺再建がはかられて以降のことであろう。⁵⁾
※寛永年間：1624-1644年

明治25年(1892年)



明治25年(仮製図)1892

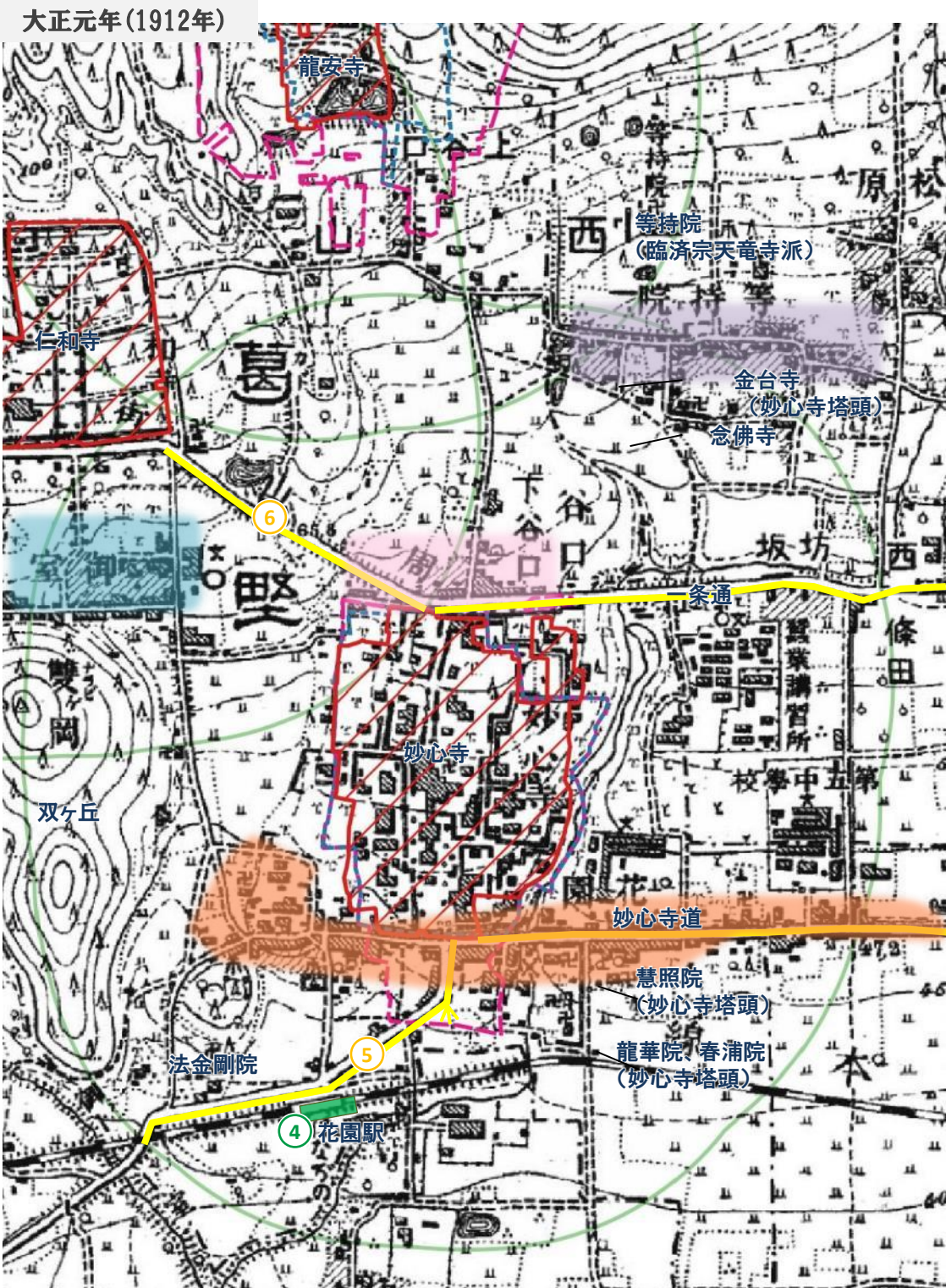
資料：仮製地形図(明治中期)(国土地理院所蔵)
画像：立命館大学アート・リサーチセンター

- ① 妙心寺道付近
・他の場所に比べ、早くから宅地化が始まっている。
特に南西部は、法金剛院・今宮神社の付近まで宅地が集積している。
- ② 妙心寺北側
・妙心寺塔頭/金台寺等へ続く道が描かれている。
- ③ 等持院
・門前町が形成されている。

- 明治16-18年時点の境外地
- 明治16-18年時点の境内地
- 近景デザイン保全区域
- 視点場(境内)

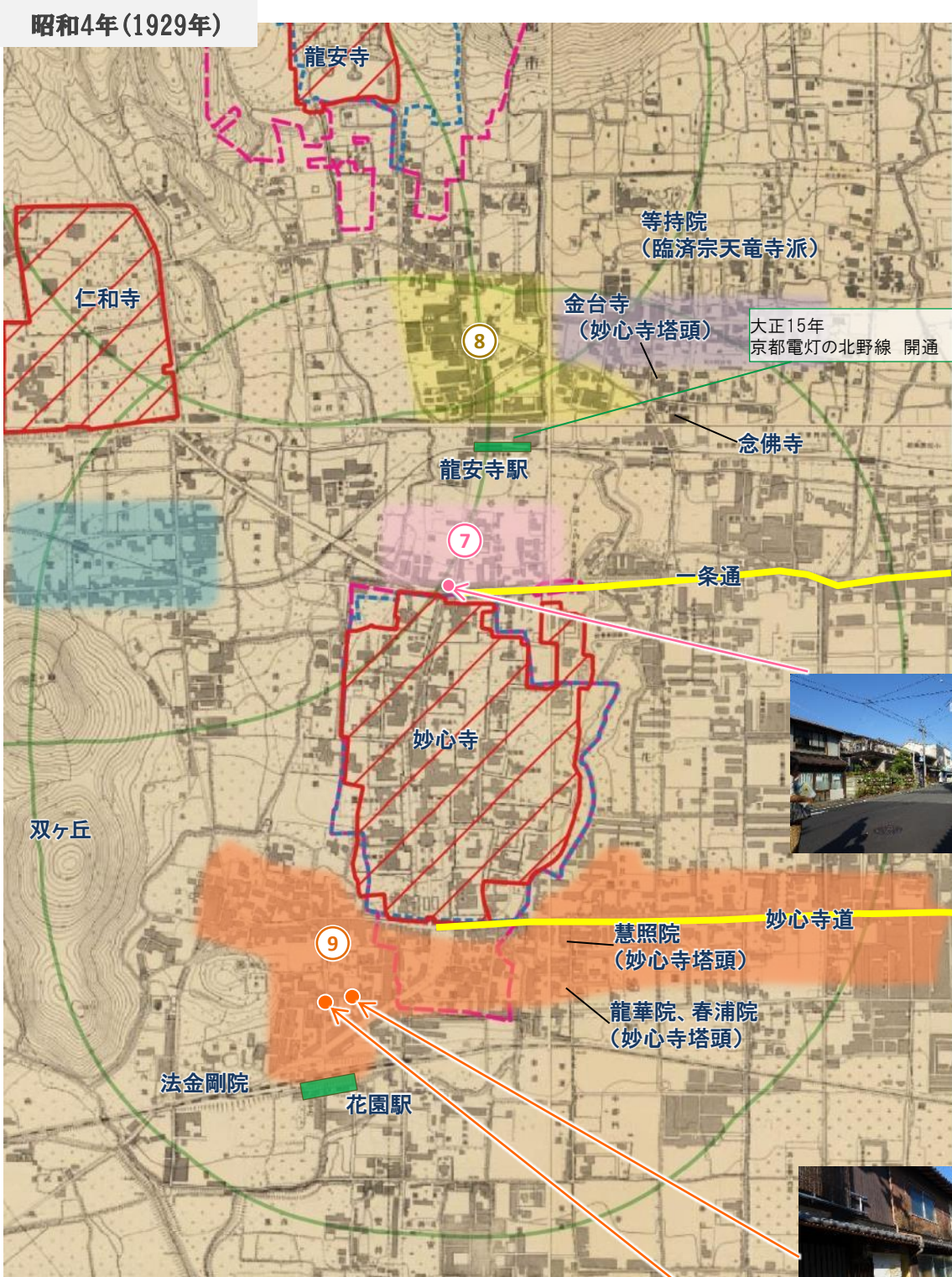
現在も町家が多く残る

エリアの土地利用の変遷(2)



資料: 正式地形図(大正元年)(国土地理院所蔵)
画像: 立命館大学アート・リサーチセンター

- ④ 花園駅
・ 明治30年京都鉄道二条・嵯峨間が開通、花園駅が設置される。⁶⁾
- ⑤ 妙心寺門前
・ 妙心寺と花園駅をつなぐ通りが完成している。宅地化も始まっている。
- ⑥ 妙心寺・仁和寺周辺
・ 妙心寺と仁和寺をつなぐ通りが完成している。

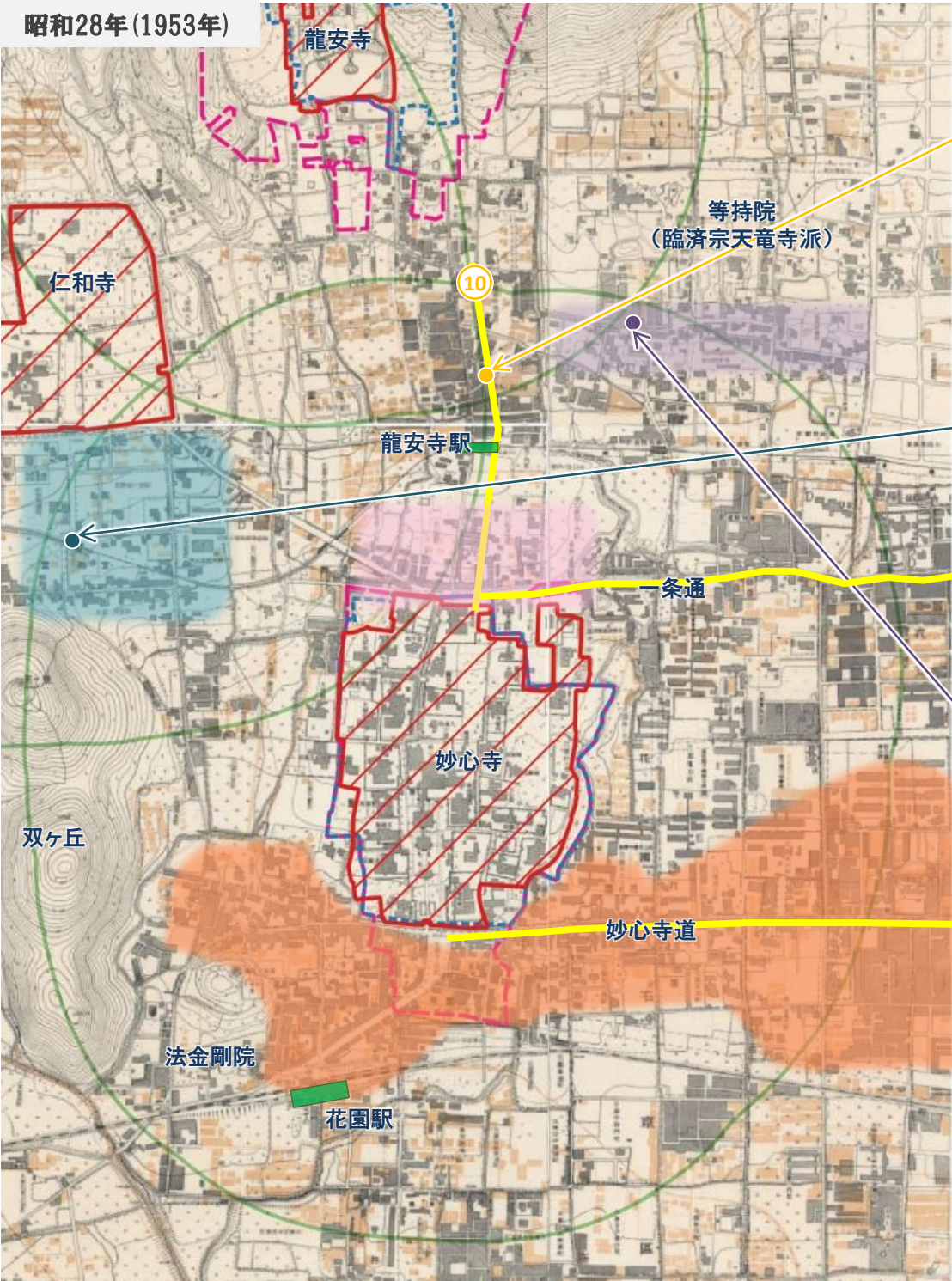


資料: 京都市都市計画基本図(昭和4年)(京都府立総合資料館所蔵)
画像: 立命館大学アート・リサーチセンター

- ⑦ 妙心寺北側・一条通
・ 特に妙心寺北側や、一条通沿での市街化が進んでいる。
- ⑧ 龍安寺駅前
・ 龍安寺・妙心寺をつなぐ道に沿って龍安寺駅前が市街化している。
- ⑨ 花園駅付近
・ 妙心寺から花園駅への通り沿いも市街化が進んでいる。

この頃から建ち始めた住宅と
今宮神社の樹木

エリアの土地利用の変遷(3)



資料: 京都市都市計画基本図(昭和28年)
(京都市都市計画局(京都市指令都企計第90号))
画像: 立命館大学アート・リサーチセンター

昭和10年都市計画図の内容
昭和28年の修正測図

⑩ 妙心寺北側
妙心寺南側及び北側の龍安寺へ向かう通り(現・龍安寺商店街)では市街化が進んでいる。



龍安寺商店街



仁和寺門前は現在も低層住宅が
並ぶ門前景観が守られている。

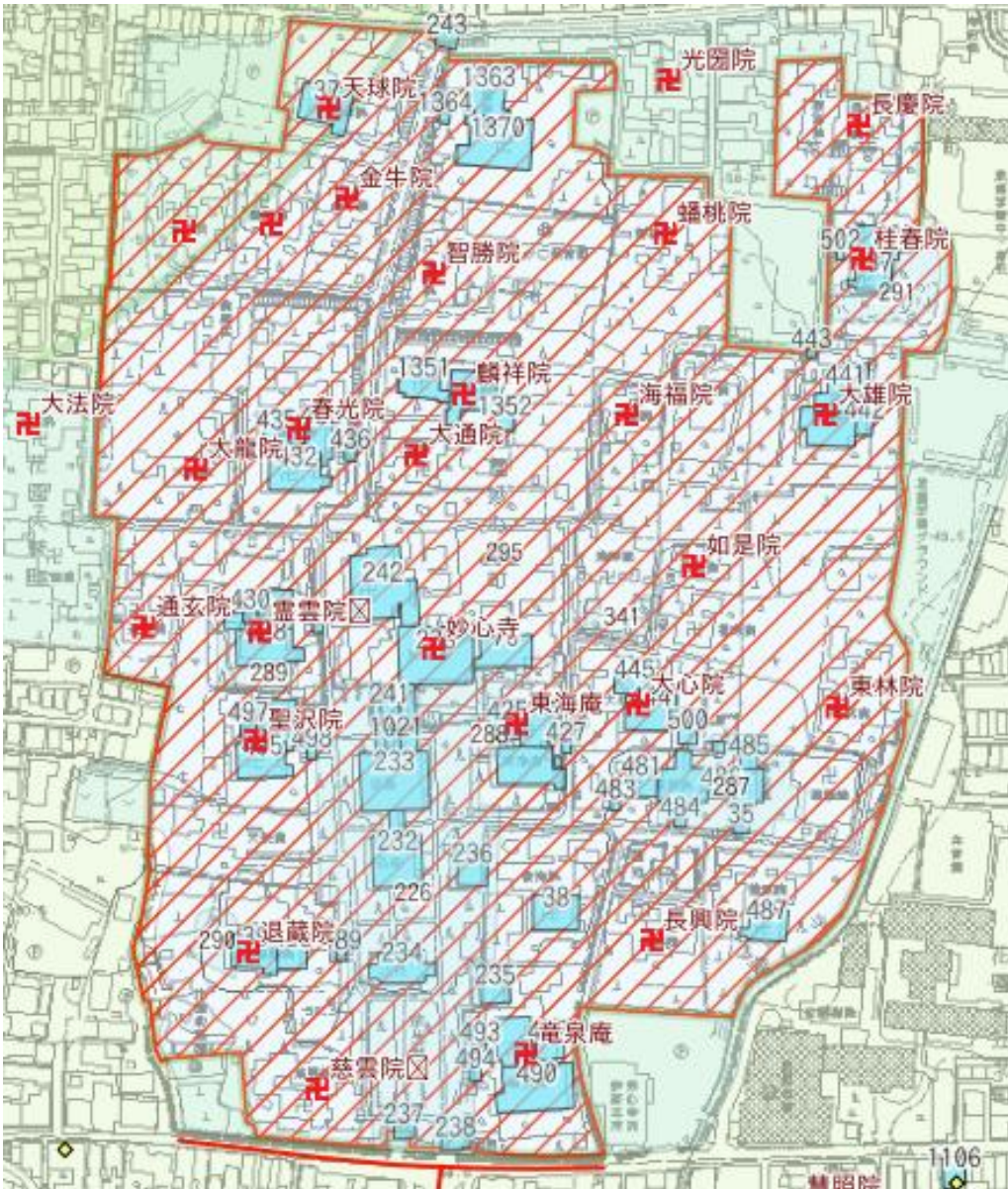


等持院門前の通り
敷地の大きな戸建住宅が多く、
通りから敷地内の植栽が見える

※ この地図は、京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/3,000)を参考にし、作成したものです。

妙心寺

双ヶ丘の東に位置し、寺域の東を宇多川が流れる。正法山と号し、臨済宗妙心寺派の大本山。本尊釈迦如来。花園上皇がこの地にあった離宮を禅寺に改めたもので、開山は上皇の師で京都大徳寺開山宗峰妙超の推薦した関山慧玄。山号・寺名も宗峰妙超が拈華微笑の話から命名した。⁷⁾



※ 詳しい地図情報は、京都市景観情報共有システムをご確認ください。

【凡例】

視点場（境内）

視点場（参道等）

近景デザイン保全区域

建築物・庭園

景観重要建築物・歴史的風致形成建築物

歴史的意匠建築物

界わり景観建築物

京を彩る建物や庭園

文化財（建築物）

文化財（史跡・名称）

国土地理院社寺データ等

樹木

天然記念物

保存樹・区民の誇りの木

※ 国土地理院の数値地図2、500に掲載の社寺データと、平成15・16年発行のゼンリン住宅地図の1、000m2以上の社寺データ

文化財

国指定重要文化財	玉鳳院開山堂	34	玉鳳院四脚門（微笑庵前門）	35	靈雲院書院	36
	天球院本堂	37	衡梅院本堂	38	退蔵院本堂	39
	小方丈	76				
	仏殿	232	法堂	233	山門	234
	浴室	235	経蔵	236	勅使門	237
	南門	238	大方丈	239	玄関	240
	寢堂	241	大庫裏	242	北門	243
府指定文化財	東海庵 庫裏	424	東海庵 書院	425	東海庵 鐘楼	426
	東海庵 表門	427	靈雲院 本堂	428	靈雲院 庫裏	429
	靈雲院 小書院	430	靈雲院 表門	431		
	春光院 本堂	432	春光院庫裏	433	春光院座敷	434
	春光院書院	435	春光院表門	436	桂春院本堂	437
	桂春院庫裏	438	桂春院書院	439		
	大雄院客殿	440	大雄院庫裏	441	大雄院書院	442
	大雄院表門	443	大心院本堂	444	大心院書院	445
	玉鳳院方丈及び昭堂	480	玉鳳院庫裏	481	玉鳳院祥雲院殿靈屋	482
	玉鳳院鐘楼	483	玉鳳院唐門	484	微笑庵昭堂及び拝所	485
	微笑庵渡廊下	486	退蔵院庫裏	488	退蔵院表門	489
	龍泉菴本堂	490	龍泉菴庫裏	491	龍泉菴書院	492
	龍泉菴鐘楼	493	龍泉菴表門	494		
	聖澤院本堂	495	聖澤院庫裏	496	聖澤院書院	497
	聖澤院表門	498	東海庵 本堂	499	大心院靈屋	500
	大心院表門	501	桂春院表門	501		
	隣華院庫裏	1363	隣華院客殿	1370	隣華院表門	1364
	麟祥院靈屋	1352	養源院本堂（附 玄関1棟・棟札2枚）	487		
府登録文化財	麟祥院本堂	1350	麟祥院庫裏	1351		

6

国指定史跡 及び名勝	桂春院庭園	291				
国指定史跡	境内	295				
国指定名勝	妙心寺庭園	287	玉鳳院庭園	288	東海庵書院庭園	289
	靈雲院庭園	290	退蔵院庭園	291		
市指定名勝	雑華院庭園	341				

■妙心寺境内からの守っていききたい眺め（妙心寺へのヒアリング結果より）

●表参道から南北方向への眺望、開山堂から東への眺め
境内からの眺めとして、特に表参道から北向きの衣笠山を借景とした眺め及び、表参道から南向きの眺めが主要な眺めとして挙げられる。また、開山堂は、妙心寺一の聖地であり、そこから東への眺めも主要な眺めである。



妙心寺表参道から北への眺め



妙心寺表参道から南への眺め



妙心寺開山堂横の道から東への眺め

[国指定重要文化財]



玉鳳院 開山堂



玉鳳院 四脚門※
（微笑庵門前）



靈雲院 書院



天球院 本堂※



靈雲院 本堂※



靈雲院 庫裏※



靈雲院 小書院※



靈雲院 表門※



衡梅院 本堂※



退蔵院 本堂※



小方丈



仏殿※



春光院 本堂※



春光院 庫裏※



春光院 座敷※



春光院 書院※



法堂※



山門※



浴室※



経蔵※



春光院 表門※



桂春院 本堂※



桂春院 庫裏※



桂春院 書院※



勅使門※



南門※



大方丈※



玄関※



寢堂※



大庫裏



北門※

[府指定文化財]



東海庵 庫裏※



東海庵 本堂※

※：（画像）京都府地図情報統合型地理情報システム（GIS）

[府指定文化財]



大雄院 客殿※ 1



大雄院 庫裏※ 1



大雄院 書院※ 1



大雄院 表門※ 1



大心院 霊屋※ 1



大心院 表門※ 1



桂春院 表門※ 1
K495



大心院 本堂※ 1



大心院 書院※ 1



玉鳳院 方丈及び昭堂※ 1



玉鳳院 庫裏※ 1



隣華院 庫裏※ 1



隣華院 客殿※ 1



隣華院 表門※ 1



隣祥院 霊屋※ 1
K1175



祥雲院殿 霊屋※ 1



玉鳳院 鐘楼※ 1



玉鳳院 唐門※ 1



微笑庵 昭堂及び拝所※ 1



隣祥院 本堂※ 1



隣祥院 庫裏※ 1

[府登録文化財]



微笑庵 渡廊下※ 1



退蔵院 庫裏※ 1



退蔵院 表門※ 1



龍泉菴 本堂※ 1



養源院本堂（附 玄関 1 棟・棟札 2 枚）

[国指定史跡]



龍泉菴 庫裏※ 1



龍泉菴 書院※ 1



龍泉菴 鐘楼※ 1



龍泉菴 表門 1



境内※ 1



聖澤院 本堂※ 1



聖澤院 庫裏※ 1



聖澤院 書院※ 1



聖澤院 表門※ 1

※ 1 : (画像) 京都府地図情報統合型地理情報システム (GIS)
※ 2 : (写真提供) 京都市観光協会・ヨコヤマ写真事務所

妙心寺境内の歴史的資産と守っていききたい眺め(4)

[国指定名勝]



庭園



玉鳳院 庭園



東海庵 書院庭園



靈雲院 庭園



退蔵院 庭園

[市指定名勝]

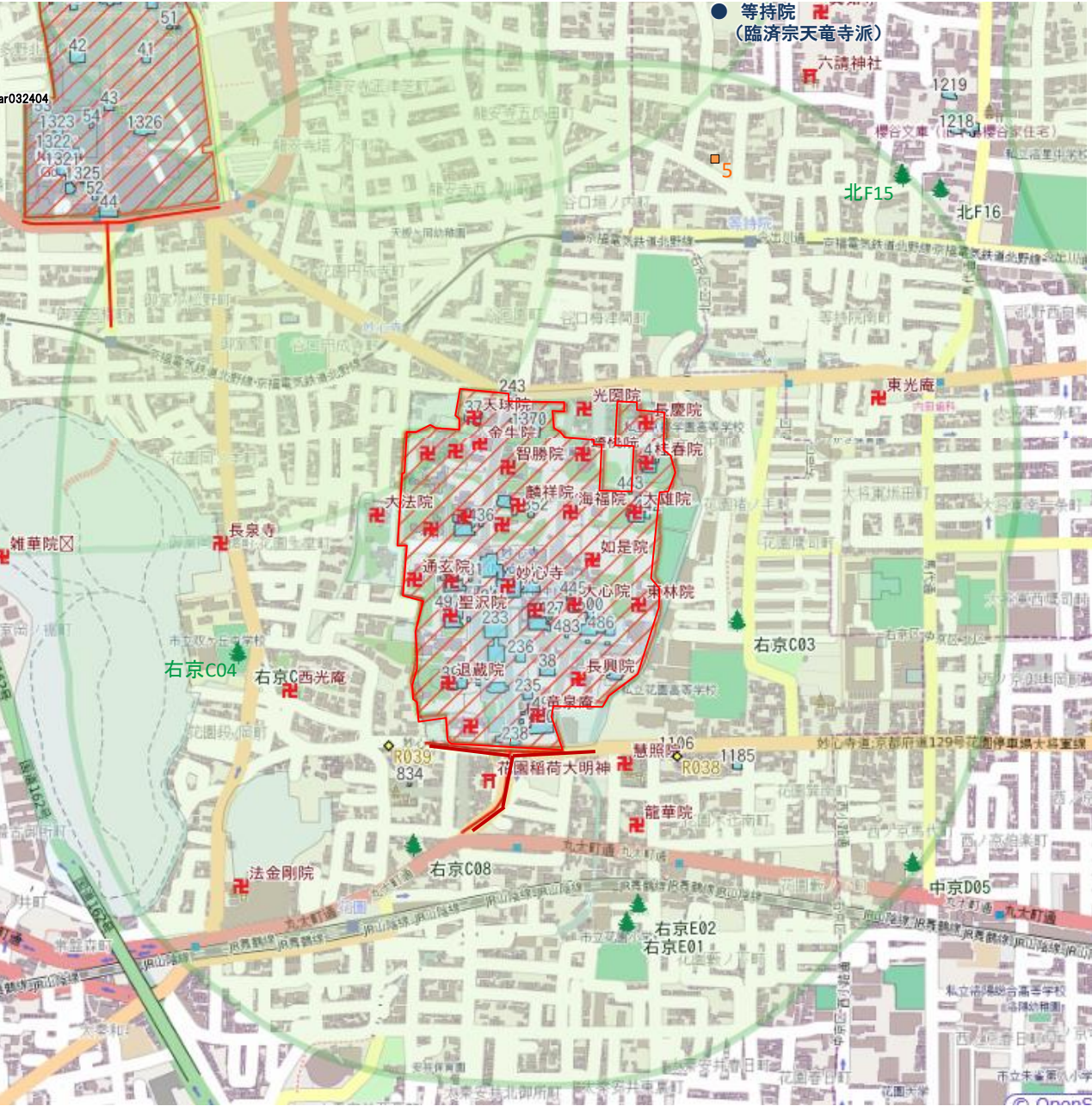


雑華院 庭園

[国指定史跡及び名勝]



桂春院 庭園※



【凡例】

視点場（境内）

視点場（参道等）

近景デザイン保全区域

建造物・庭園

景観重要建造物・歴史的風致形成建造物

歴史的意匠建造物

界わい景観建造物

京を彩る建物や庭園

文化財（建築物）

文化財（史跡・名称）

国土地理院社寺データ等

樹木

天然記念物

保存樹・区民の誇りの木

※ 国土地理院の数値地図2、500に掲載の社寺データと、平成15・16年発行のゼンリン住宅地図の1、000m2以上の社寺データ

等持院



※2

衣笠山麓にある。臨済宗天龍寺派、万年山と号し、本尊釈迦如来。「雍州府志」には「在真如寺西、斯寺古在山上」と、堂舎がもと山上（衣笠山か）にあったとし、「都名所図会」には「本尊の地蔵菩薩、大聖歓喜天の堂、鎮守六請明神等、今にあり」と記す。もと真言宗で京都仁和寺の一院と伝える。⁸⁾

法金剛院



国指定名勝

※2

双ヶ丘の三ノ丘東、五位山を背に南面して位置する。五位山と号し、律宗。本尊阿弥陀如来。寺地は平安時代の初め右大臣清原夏野の山荘のあった地と伝える。夏野は小倉王の五男、天長9年（832）右大臣となった。「花鳥余情」に「号ス並岡ノ大臣、又号野路大臣」とある。この双ヶ丘の山荘には嵯峨・淳和・仁明の各天皇が臨幸した記録がある（「続日本後紀」承和元年四月二日条、「三代実録」貞観五年正月一一日条、「類聚国史」）。⁹⁾

双ヶ岡



国指定名勝

※1

吉田兼好が二の丘西麓に住んだと伝え、一の丘東麓の長泉寺に歌碑と墓がある。¹⁰⁾

※1：（画像）京都府地図情報統合型地理情報システム（GIS）

※2:（写真提供）京都市観光協会・ココヤマ写真事務所

妙心寺周辺のその他の歴史的資産

■ 景観上重要な建築物、庭園等

妙心寺塔頭

安政6年（1859）の正法山妙心禅寺塔頭総図で80余を数えた塔頭も、明治11年前後にその多くが合併されたが現在も天授院・退蔵院・養源院・如是院・衡梅院・龍泉庵・聖澤院・慈雲院・通玄院・玉龍院・東海庵・大法院・大龍院・春光院・靈雲院・智勝院・大通院・天祥院・壽聖院・金牛院・天球院・隣華院・雲祥院・長慶院・桂春院・大雄院・蟠桃院・海福院・雑華院・祝壽院・養徳院・大心院・東林院・徳雲院・長興院・光国院・慧照院・龍華院・麟祥院・金台寺・春浦院・西源院・仙壽院・大珠院・多福院・靈光院の46ヵ所が残る。



西源院



大珠院



靈光院



春浦院



金台寺



慧照院



龍華院

上田邸

〔歴史的意匠建造物、国登録文化財〕



◆ R038 ※

加藤邸

〔歴史的意匠建造物〕



◆ R039

杉江家

〔京都を彩る建物や庭園〕

昭和2年（1927）に建替えられている。庭園の石や灯籠は100年以上前のもの。石の中には、今では手に入らない鞍馬石等の貴重なものもある。



※



5

※

〔国登録文化財〕



堀江家住宅 主屋※

〔市指定文化財〕



今宮神社 本殿

〔国指定史跡〕



仁和寺 御所跡※

〔府指定史跡〕



平安京右京一条三坊九町遺跡※

■樹木等

名称	保存樹	天然記念物	区民の誇りの木
イチョウ：等持院北町（立命館大学）			 北F14
アベマキ：等持院公園			 北F15
ヒマラヤスギ：バプテスト洛西教会			 中京D05
オガタマノキ：花園良北町			 右京C03
ソメイヨシノ：双ヶ丘中学校			 右京C04
クロマツ：花園寺ノ前町			 右京C08
エノキ：花園小学校			 右京E01
ソメイヨシノ：花園小学校			 右京E02

景観の特性と形成方針

西山風致地区（既存の京都市景観計画から抜粋・要約）

【景観特性】

- 山地部分や社寺の境内地等、緑が多い
当地区の山地部分の山林や森林はきれいにまとまって保全されている。
- 妙心寺・仁和寺
社寺の境内地にも緑が多く、妙心寺は北側の仁和寺一体とともに緑濃い一画を形成している。

【景観形成の方針】

- 双ヶ岡西側及び北側の地域等の風趣ある和風空間
双ヶ岡西側及び北側の地域では、敷地規模も大きく緑化の豊富な日本瓦ぶき・和風外観の和風住宅が立ち並ぶ。これらの住宅地域では、敷地規模の確保を図り、建築物は日本瓦ぶき和風外観とした風趣ある和風空間の維持を図る。
- 妙心寺の周辺環境
妙心寺については、市民の日常的な、緑あふれる憩いの場として保全を図り、周辺では、低層住宅地域による周辺環境の保全を図る。



1) 仁和寺前に向かう通り



2) 仁和寺境内



3) 仁和寺門前



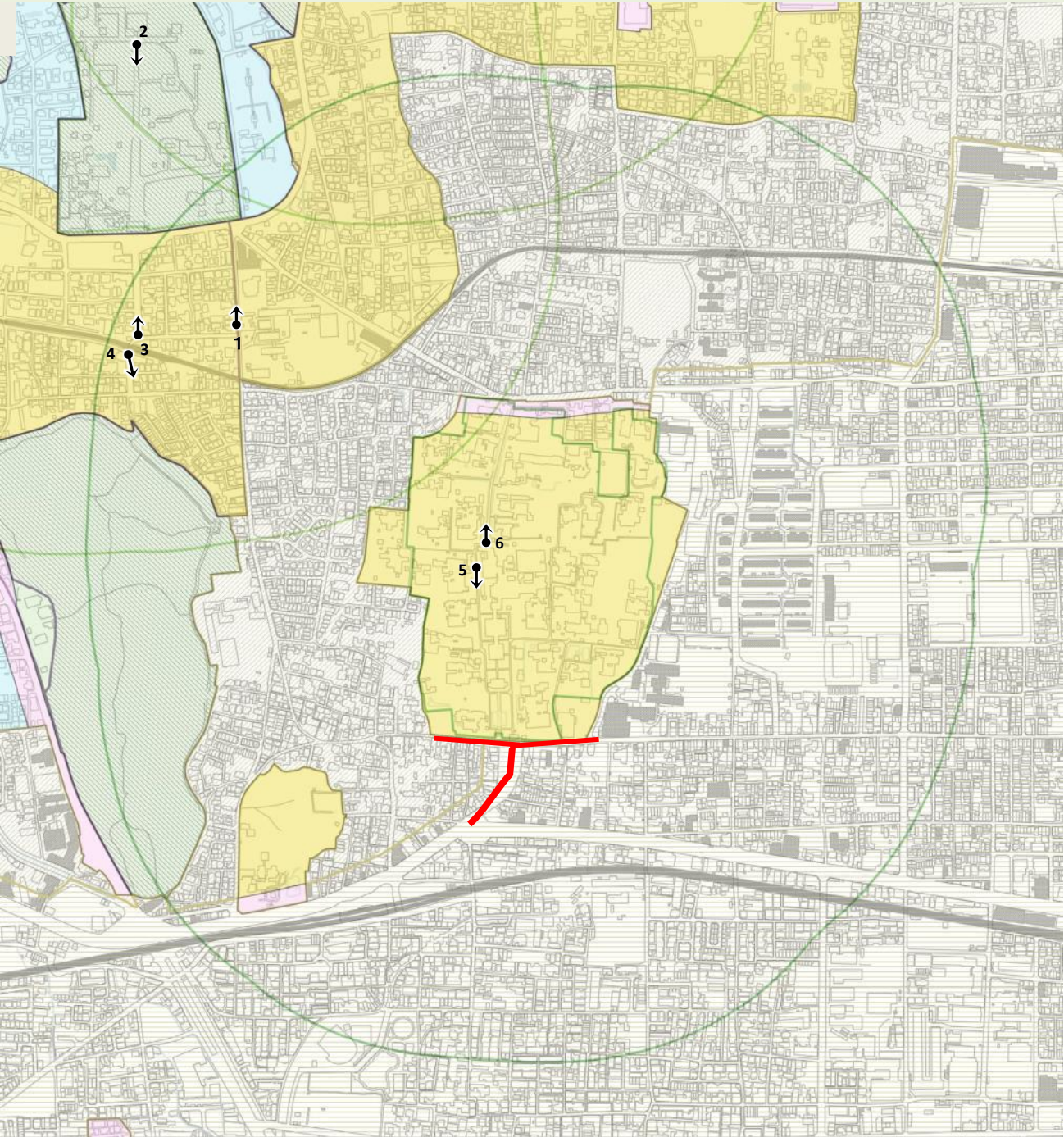
4) 御室駅前



5) 妙心寺境内



6) 妙心寺境内



【凡例】

眺望景観保全区域	景観地区	建築物修景地区
視点場（境内）	山ろく型美観地区	山ろく型建築物修景地区
視点場（参道等）	山並み背景型美観地区	山並み背景型建築物修景地区
近景デザイン保全区域	岸边型美観地区	岸边型建築物修景地区
風致地区	旧市街地型美観地区	町並み型建築物修景地区
風致地区第1種地域	歴史遺産型美観地区 一般地区	
風致地区第2種地域	歴史遺産型美観地区 歴史的景観保全修景地区	
風致地区第3種地域	歴史遺産型美観地区 歴史的景観保全修景地区	
風致地区第4種地域	歴史遺産型美観地区 歴史的景観保全修景地区	
風致地区第5種地域	歴史遺産型美観地区 歴史的景観保全修景地区	
風致特別修景地区	重要界わい景観整備地域	その他
	沿道型美観地区	伝統的建造物群保存地区
	市街地型美観形成地区	歴史的風土保存地区
	沿道型美観形成地区	歴史的風土特別保存区域

※ 詳しくは、京都市景観情報共有システムを御確認ください。

- 1) 下中邦彦『日本歴史地名大系第27巻 京都市の地名』平凡社、1979、p.498
- 2) 京都市『史料 京都の歴史第14巻 右京区』平凡社、p.262
- 3) 前掲2)、p.262
- 4) 前掲2)、p.262
- 5) 前掲2)、p.262
- 6) 前掲2)、p.262
- 7) 平凡社『寺院神社大事典 1 京都・山城』平凡社、1997、P671-672
- 8) 前掲7)、
- 9) 前掲7)、p.611
- 10) 前掲7)、
- 11) 前掲7)、p.676